

第48回 全国学童保育 指導員学校 北関東会場

放課後児童支援員等の資質向上のための研修会

本研修会は、学童保育指導員(放課後児童支援員等)の資質向上のための研修です。
全国10会場で開催し、昨年実績で6,000人以上の方が子どもたちの放課後の生活を豊かにするために学んでいます。どなたでも参加できます。

オンライン(zoom)による研修 **受講料2,000円**
2023年6月25日(日) 9:15受付(入室)

9:15	10:00	12:00	13:00	16:00
研修内容	受付(入室)	全体会	休憩	14講座

● 全体会 ●
基調報告 全国学童保育連絡協議会

●全体講義

子どもの心の育ちとコミュニティ

【講師】田中 哲氏

(子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長)

●田中哲医師は、児童の精神医療に豊富な臨床経験と知識を持つ。児童精神科医を目指したのは、大学時代、教会の日曜学校で教師をしたことにより「子どもの精神医療に関わりたい」という気持ちが芽生えたからだという。東日本大震災後には、現地で被災した子どもたちの医療にも携わった。同院の児童・思春期精神科においては、発達障害や精神障害、暴力やひきこもりなどの問題行動を対象として診療を実施。医師たちが治療方針などについて話し合いながら治療を進めている。

●主な著書に、『“育つ”こと “育てる”こと 子どもの心に寄り添って』(2016年のちのことば社) 『発達障害とその子らしさ』(2013年のちのことば社)

●所属学会等 日本児童青年精神医学会、日本精神神経学会、精神保健指定医、精神科専門医

主催：全国学童保育連絡協議会

後援：群馬県

■お申し込み・参加費振り込み■ 下記 URL をご覧ください。

<https://drive.google.com/file/d/12qX6DFWA7GVeOTI75evuV86LxAKDLgnk/view>

- 1台のパソコンで複数の方が受講も可です。ただし受講料は1名あたり2,000円となります。その場合受講は1つの講座になります。受講料2,000円を振り込みのうえお申し込みください。
- 携帯電話会社が提供するキャリアメール(**@docomo.ne.jp など)ではお申し込みになれません。



●振込先口座

群馬銀行 新町支店(金融機関コード0128) 普通預金

口座番号 : 0496538

名義 : 群馬県学童保育連絡協議会

●申し込み用メール

gunma.gakudou@gmail.com (群馬県学童保育連絡協議会)

●申し込み締め切り

6月12日(月)

●申し込み受付後

6月15日までに、資料や接続練習会、ZOOMの接続情報等、受講に必要な事項をまとめ、指定のメールアドレスへ送ります。

●接続練習会

6月20日(火)、午前10:00~11:30、午後8:00~9:30にZOOMの接続練習会をおこないます。ZOOMの操作に不安がある方は練習会への参加をおすすめします。

●キャンセル

6月19日(月)までに、メールでご連絡ください。事務費(振込手数料)を差し引いた額を返金いたします。6月20日(火)以降のキャンセルは返金できません。

申し込み・
問い合わせ

群馬県学童保育連絡協議会

〒370-0084 高崎市八幡町179-1 第2八幡学童クラブ内

TEL. & FAX. 027(321)4532 (担当 新津)

できるだけ
メールまたは
FAXで、お願
いします。

第48回 全国学童保育指導員学校・北関東会場 講座

*講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修課目(試案)」に該当するものです。

●入門講座 指導員として基本的な事項を学びます。

1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か

【講師】佐藤正美 (全国連協・さいたま市指導員) Ⅰ-1-④ Ⅱ-1-① Ⅲ-1

学童保育は共働き、一人親家庭の親の労働を保障し、子どもたちの生活を守る場です。指導員は、日々子どもたちの生活をつくることを通して、親が安心して働くことを保障しています。そのためには、子どもたちの信頼に応える力量や指導員としての職業意識も求められます。学童保育の仕事・役割、指導員である事から生じる倫理等について学びます。

2 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務

【講師】平井 茜 (全国連協・横浜市指導員) Ⅱ-3

新任の頃は子どもと一日、どう過ごせばよいか悩む方が多いのではないのでしょうか? 宿題、おやつ、あそび等の流れをどう作るか、行事などの取り組みをどうするか、年間の流れ、一日の流れをどうつくるかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、保護者や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務についても学びます。

3 日々の記録から実践の記録へ

【講師】合田瑞穂 (さいたま市指導員) V-1

日々の保育を記録することは、指導員自身が保育内容を振り返って確かめ、より豊かな実践をつくっていく上で大切な仕事です。記録をもとに指導員どうしが話し合い、検討し、学びあうこと、この積み重ねが実践の向上につながります。また、国の「放課後児童クラブ運営指針」にも記録の必要性が示されています。実践を記録することの意味から、実際に記録を書いていることまでを学びます。

*理論講座4~11、実践講座12・13、運動に関わる講座14は裏面をご覧ください。

第48回 全国学童保育指導員学校・北関東会場 講座

*講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修課目(試案)」に該当するものです。

●理論講座 子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます。

子どもの発達のしくみを学ぶ

4 **【講師】 加藤陽子** (十文字学園女子学大学 心理学教授) III-1 IV-2
指導員の仕事を進めるうえで、子どもを深くとらえることが求められます。さらに今日、様々な要因から子どもたちの育ちに課題があるケースが多くなっていることから、子どもをよりよいに与えることが求められています。学齢期の子どもの発達の特徴や、今日的な特徴を理解した上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。

子どもの権利条約第31条に学ぶ ~遊びは子どもの主食です~

5 **【講師】 齋藤史夫** (東京家政学院大学准教授) III-1 IV-2
「子どもの豊かな成長・発達を保障する『子ども期』の充実のためには、子どもの遊びと文化は不可欠の権利であり、特に『遊びは子どもの主食』なのです。(増山均氏)。子どもの権利条約31条は、休息・余暇の権利、遊び・レクリエーションの権利、文化的生活・芸術への参加の権利を定めています。学童保育は子どもたちに遊びと生活を保障する場。子どもの権利条約を学童保育にどう活かしていくかを学びます。

発達障害の子どもたちの理解と支援

6 **【講師】 佐々木将芳** (静岡県立大学短期大学部社会福祉学科講師 社会福祉士) III-4
生活の中で落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう「ちょっと気になる子」。「LD」「ADHD」等、発達障害だと特別扱いすることで解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。

子どもとのかかわり方 ~作業療法士の視点から~

7 **【講師】 森川芳彦** (川崎リハビリテーション学院 准教授 副学科長) III-6-③
作業療法士には、「生活」と「遊び」から子どもの発達支援をする”方たちがいます。まさに学童保育と同じですね。作業療法士の視点から、子どもの「生活」や「遊び」を捉え直してみよう。子どもたちの行動一つ一つを見る目が変わります。また、子どもの不思議な行動や、大人には「困った」と思える行動にも、ちゃんと理由があることがわかります。どの子どもにとっても、指導員にとっても、毎日の生活が楽しくなるヒントが満載です。

教室の中の子どもたち ~学校と学童保育~

8 **【講師】 土佐いく子** (和歌山大学講師、元小学校教諭) III-2-②③
学童保育の子どもたちは、学校と学童保育で生活しています。学校と学童保育とで、見せる顔が違うこともよくあります。指導員は、学校での子どもたちの様子を知ること、子どもたちへの理解が深まります。学校現場は、いじめや学力などたくさんの課題・問題を抱え、多くの教師は悩みながら子どもと向き合っています。学校は今どうなっているのか? 学校・教師と学童保育がどう連携して、子どもを支援していくかを学びます。

ネット社会で育つ子どもたち ~どんな困難があるか、大人にできることは?~

9 **【講師】 中西新太郎** (横浜市立大学名誉教授) III-2-④
ネット社会は、いま、子どもたちの成長に不可欠な環境となっています。ゲームなど、子どもたちを引きつける大きな魅力があるだけでなく、教育の場でもネット利用が拡大しています。同時に、ネット社会だからこそ生じる危険も子どもたちの生活に入りこんできます。ネット利用にはどんな問題があるか、ネット社会で生きる子どもたちの成長を支えるために大人ができることは何かを共に考えてみます。

児童虐待を考える ~虐待は子どもの何を奪うか~

【講師】 小宮純一 (ジャーナリスト) III-1-② IV-6-⑤⑥ IV-7-③

10 児童虐待は、無くなるどころか、最近も児童虐待のニュースが後を絶ちません。学童保育は、子どもの生活と密接に繋がっているため、指導員は時として児童虐待の第一発見者となる場合があります。一方で、学童保育における児童虐待も残念ながら起きています。児童虐待をなくするためには、まず児童虐待について正しく理解することが必要です。そして私たちにできることを学びましょう。今回は特に子どもの愛着に焦点を当てます。

大人に知って欲しい生(いのち)と性のおはなし

11 **【講師】 上田美和** (宇都宮市助産師) III-1-①
日本でも多様性を認められる社会を目指し始めましたが、皆さんのクラブではいかがでしょうか? ジェンダーやLGBTQ(性的マイノリティー)について理解を深めたいと思いつつ、そういう機会は多くないのが現実です。生と性について知ることは、人として根本的な大切なことを知ることで、子どもたちが、性について、自分について、なんでも相談できる大人の一人になってみませんか?

●実践講座 指導員の仕事を実践的に学びます。

子どもの生活を保護者と伝え合う

12 **【講師】 鶴貝りさ** (足利市指導員) IV-6
保護者は、わが子が学童保育に楽しく通い、育っている実感があって、初めて安心して働き続けることができます。学童保育での子ども様子を保護者に伝えることは指導員の大切な仕事です。保護者と伝え合うことの重要性、何をどのように伝え合うのかを学びます。

学童保育の職員集団と職員会議のあり方を考える

13 **【講師】 永松範子** (横須賀市指導員) II-3-③ III-3-⑤
指導員は運営指針等によって、自ら判断して対処する場面が少なくありません。ときには、同僚と意見が食い違い、すぐには一致できないこともあります。職員間で折り合いをつけ、どう対応するかを決める必要があります。また同時に、それぞれが自分の課題意識にもとづき、継続的に子どもを観察し、ケース検討(事例検討)等を通して、職員集団としての共通理解を拓いていくことが大切です。

●運動に関わる講座 学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を学びます。

学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

14 **【講師】 嘉村祐之** (全国学童保育連絡協議会) I-1-②
学童保育は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の手立てを講じながら、子どもたちに「生活の場」を保障してきました。学童保育の果たす役割や重要性の社会的認知が広がった一方で、その施策の持つ脆弱さも浮き彫りになりました。あわせて、「従うべき基準」の参酌化、委託・民営化、企業参入など運営主体の変更、第三者評価の導入など、多くの課題を抱えています。学童保育の目的・役割をふり返りながら、これからの学童保育のあり方、指導員の課題を確かめあい、運動の視点を学びます。

毎月3万4000人が読んでい日本唯一の学童保育の月刊誌!
月刊『日本の学童ほいく』あなたも読んでみませんか?

子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。

